

いま、みんなでいっしょに取り組みたい！

食品ロスのこと



☑ 食品ロスって、なに？

「食品ロス」とは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。

日本では、年間約**523万トン**（令和3年度推計値）の食品ロスが発生しています。

これは、**国民1人1日当たり約114g**の食品ロス量になり、年間にすると1人当たり約42kg相当のまだ食べられる食品を捨てているということになります。

✓ 渋川市の食品ロスの状況

渋川市における食品ロス量は年間約**3,877トン**（令和元年度推計値）で、市民1人1日あたりの量にすると約**140g**です。

これは、**毎日1人がお茶碗約1杯**程度（一般的なお茶碗1杯のごはんの重さは約150g）の食品を捨てていることとなります。

	年間食品ロス量 (R元年度推計値)	平均食品ロス量 (1人1日当たり)
全国	570万トン	124 g
群馬県	11.6万トン	164 g
渋川市	3,877トン	140 g

✓ 食品ロス、なにが問題？

世界の食料廃棄量は年間約**13億トン**（平成29年度）で、食料生産量のおおよそ1/3に当たる量を廃棄しています。

日本の食料自給率（カロリーベース）は**37%**（令和2年度）で、食料の多くを海外からの輸入に依存しています。一方で国民1人が**毎日おにぎり1個**程度の食品を廃棄している状況です。

食品ロスは食料問題

今後、世界の人口増加に伴い、食料難が深刻化する恐れがあります。

食品ロスは環境問題

可燃ごみとして焼却するコスト、CO2排出等の環境負荷が考えられます。

✓ 渋川市の食品ロス削減目標

基準値 (R元年度)	2030年 (SDGsのゴール) R12年度時点	目標値 (R14年度)
3,877トン	2,585トン	2,326トン
	33%削減!	

